

校内スケッチ

～校内研修会～

昨日実施した児童引き渡し訓練の終了後、本校、多目的室に於いて、校内研修会を開催しました。今回は人権教育推進部が主催。研修のテーマは「不登校児童生徒の理解と支援」でした。この日は、外部講師として、大阪府立の支援学校の先生を、2名招聘し、約2時間、研修をしました。

前半の『不登校の子ども理解』についてのお話では、「心のエネルギー」というキーワードが印象に残りました。不登校の子どもを理解するには、今その子が持つ「心のエネルギー」に即して個別に対応する必要があることを改めて学びました。また、後半の『段階別の対応』についてのお話の中では、①前駆期 ②混乱期 ③休養期 ④回復期 ⑤助走期 ⑥復帰期 の6段階があることを教わり、個々に照らし、ベストな対応を考えていく大切さを学びました。

この研修会での何よりの収穫は、全教職員が今日的な教育課題の一つである不登校について共通認識できたことです。組織対応力の高揚に繋がります。

